

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 13日

中施策事業名	医療介護連携推進事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する		
④中施策事業の対象	医療介護関係機関・従事者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	連携がスムーズになされ、質の高いケアを提供できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護連携推進事業に関すること</li> <li>・いきいき笑顔ネットワークに関すること</li> <li>・多職種人材育成事業に関すること</li> <li>・多職種合同ケアカンファレンスに関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ICTいきいき笑顔ネットワークにより多種職連携のもと支援される高齢者の人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	580	590	600	800	1,000	1,100
	実績値	828	1,123				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		11,541千円	11,445千円		
人件費	a 事業費合計	11,541千円	11,445千円	12,111千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		9,319千円	9,241千円	9,778千円	
③ コスト(①-②)		2,222千円	2,204千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		32円	32円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>総合評価：B</p> <p>「医療介護サポートセンターかけはし」の設置により入院患者の退院に向けたサポートが強化され患者や家族に対する精神的な負荷の軽減に寄与できている。</p> <p>また、センターの運営を藤田医科大と東郷町との共同設置とし、財政負担減や効率的な運用につながっている。</p> <p>いきいき笑顔ネットワークに登録され支援される高齢者数についても目標を上回る増加となった。多職種間の連携ツールとしての活用が定着しており、スムーズな多職種連携に寄与している。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療介護サポートセンターかけはし」と共に、コロナ禍以降の退院調整（退院後の生活支援のための関係機関での支援調整）についての課題を検討する。</li> <li>・いきいき笑顔ネットワークの他部署での活用について、重層的支援体制整備事業の方向性を踏まえた上で方針を検討する。</li> </ul>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>市における重層的支援体制の整備として、いきいき笑顔ネットワークを含む医療介護連携推進事業における高齢者福祉分野での取り組みを、障がい福祉や生活困窮者支援、子育て支援などに生かせるよう具体的な取り組みへ移していく。誰ひとり取り残されない重層的な支援体制の整備へつなげる。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 13日

中施策事業名	敬老事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	数え88歳、99歳、100歳以上の市民 70歳以上の独居者への年末お見舞訪問		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	在宅で過ごしている高齢者が増えている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老事業の祝金配布事業</li> <li>・独居高齢者年末見舞訪問</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
敬老祝訪問数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	300	310	320	350	400	420
	実績値	420	469				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			2,505千円	2,520千円	
人件費	a 事業費合計		2,505千円	2,520千円	3,013千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			1千円	1千円	1千円
③ コスト(①-②)			2,504千円	2,519千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			36円	37円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>総合評価：B</p> <p>高齢者の増加は今後も想定されることから、民生委員等、福祉施設及び老人クラブと連携して高齢者の孤立化防止や見守りを実施している。</p> <p>当該事業は、高齢者と民生委員との接点として重要なものとなっており、令和3年度実績としては、敬老事業の祝金配布事業受給者数は427名、独居高齢者年末見舞被訪問者数は1,865名となっており、高齢者の安否を確認している。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き民生委員等と連携し地域での見守りを継続。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	高齢者増加に伴う事業の実施方法を検討していく、	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 11日

中施策事業名	介護予防生活支援事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	要支援1, 2及び事業対象者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	重症化が予防できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防日常生活支援総合事業</li> <li>・介護予防ケアマネジメントについて</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
要介護認定率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	14.2	14.4	17.6	18.3	19.3	19.6
	実績値	15.5	15.8				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			57,144千円	74,534千円	
人件費	a 事業費合計		57,144千円	74,534千円	91,861千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			50,001千円	65,217千円	80,378千円
③ コスト(①-②)			7,143千円	9,317千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			104円	135円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>令和2年度と比較し総事業費の支出が約30%の増加となっている。令和3年度末は本事業の対象者である要支援1・2認定者が前年比+62人の778人に増加。コロナウイルス感染拡大による外出の機会減少が大きく影響していると考えられる。コロナ禍以前から「まちかど運動教室」や健康体操、高齢者向けの地域サロンなど、地区に根差した様々な介護保険外の介護予防の取り組みを行っており、令和元年度までは本事業の事業費は抑制傾向にあった。外出機会の減少が、高齢者の心身へ与える影響が大きいことを示す結果だと考えられる。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	要介護・要支援認定者数および重症化率の推移について把握し、介護予防の取組再開・促進との関連性を調べ、効果的な介護予防・重症化予防の取組を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	上記同様定期的にモニタリングを行い、効果的な介護予防・重症化予防の取組を展開する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 11月 29日

中施策事業名	包括支援事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができています		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	65歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	日常生活に係る様々な相談ができる場所を知っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包括支援センター運営支援に関すること</li> <li>・ 総合相談支援業務に関すること</li> <li>・ 高齢者虐待に関すること</li> <li>・ 成年後見制度に関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域包括支援センターの相談件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,800	1,900	5,800	6,000	6,200	6,400
	実績値	5,261	5,581				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		85,834千円	95,476千円		
人件費	a 事業費合計	85,834千円	95,476千円	99,216千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		69,310千円	77,096千円	78,118千円	
③ コスト(①-②)		16,524千円	18,380千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		240円	267円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>総合評価：B</p> <p>市内の北部、中部、南部の3カ所に包括支援センターを設置。相談件数は年々増加しており、身近な高齢者の総合相談窓口として定着し、機能を果たしている。</p> <p>令和2年度と比較し令和3年度の事業費総額が増加しているのは、令和2年度の地域包括支援センター委託費の実績による減額（相談員の欠員による人件費減）、令和3年度介護保険報酬改定対応によるシステム改修委託料の増額が主な要因になっている。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>ケアマネージャー、地域包括支援センター、医療機関、生活支援コーディネイターなど高齢者に関わる様々な立場・職種の支援者が参加する「多職種合同ケアカンファレンス」を毎月開催し、事例を通じ地域資源情報および課題の共有を実施。ふつうに暮らせるための支援およびケアマネジメントについて、学びを共有する場としている。また年4回虐待対策会議を行い、虐待が疑われる事例を各包括支援センターおよび市とで共有している。これらの取組を通じ、地域包括支援センター職員の資質向上を図る。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>今後5年で後期高齢者数が急激に増加すると予測されるため、高齢者の相談支援業務の要である地域包括支援センターの人員体制強化を進めていく。また重層化支援体制整備事業の枠組みの中で、総合相談としての地域包括支援センターの役割を再確認した上で、さらなる充実を図る。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	認知症総合推進事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	認知症になっても安心して生活できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症初期集中支援チーム</li> <li>・ 認知症地域支援推進員の配置</li> <li>・ 認知症キャラバンメイトの養成</li> <li>・ 認知症サポーターの養成</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内の認知症サポーターの数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	7,500	8,000	8,500	9,500	10,500	11,000
	実績値	8,678	9,112				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			19,043千円	19,318千円	
人件費	a 事業費合計		19,043千円	19,318千円	19,916千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			15,377千円	15,599千円	16,082千円
③ コスト(①-②)			3,666千円	3,719千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			53円	54円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>コロナウイルス感染症禍ではあったが、令和3年度も認知症サポーター養成講座を4回開催し、460名が受講。市民啓発に努めた。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター1万人プロジェクトを引き続き推進。4年度中に目標の1万人達成を目指す。</li> <li>認知症初期集中支援チーム会議等を通じ効果的な介入方法を検討し、必要な支援開発を図っていく。</li> </ul>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	高齢者の増加による認知症者も増加と合わせてサポーターとなりうる年齢層の減少も想定されるため、認知症者の支援事業を深く検討する必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 12日

中施策事業名	一般介護予防事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する		
④中施策事業の対象	65歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	要介護状態になることを防いでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域介護予防活動支援に関すること</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業</li> <li>・一般介護予防事業に関すること</li> <li>・一般介護予防事業評価に関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
要介護認定率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	14.2	14.4	17.6	18.3	19.3	19.6
	実績値	15.5	15.8				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		32,943千円	35,634千円		
人件費	a 事業費合計	32,943千円	35,634千円	47,164千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		28,825千円	31,179千円	40,851千円	
③ コスト(①-②)		4,118千円	4,455千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		60円	65円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>本事業は、介護保険の要支援者のデイサービス、ヘルパーが給付から切り離されて移行したものであり、費用対効果は本事業の事業費でなく、介護予防給付費の抑制に着目する必要があるが、本事業によりデイサービス、ヘルパー事業費の抑制に寄与している。</p> <p>令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症対策により本事業を休止せざるを得ない期間があった。令和3年度は要介護認定者数のうち要支援認定者数が増加しており、外出抑制および本事業の休止による心身機能の低下が影響しているものと思われる。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を徹底した上で本事業の取組（地域サロン、まちかど運動教室など）を再開</li> <li>・拡大し、身近な場での外出・交流・運動の機会を作ることにより心身機能の低下を防ぎ、生きがいつくりと健康寿命延伸を図る。</li> <li>・重層的支援体制の整備を図る中で、子どもや障がい者などにも本事業の取組を拡大応用できるかを検討し、誰ひとり取り残されない地域づくりを図っていく。</li> </ul>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の通いの場の拡大により、元気な高齢者の増加及び虚弱高齢者の状態改善・悪化防止を図り、第8期（2021～2023）高齢者福祉計画・介護保険事業計画の期間において要介護認定率の上昇率の抑制を図る。</li> <li>・引き続き、重層的支援体制整備として誰ひとり取り残されない地域づくりを進める。</li> </ul>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 11月 25日

中施策事業名	高齢者生きがいづくり事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する		
④中施策事業の対象	60歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	老人クラブの活動が活発になり、人々が趣味を楽しんでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人憩いの家に関すること</li> <li>・老人生きがい推進事業委託（老人クラブ）</li> <li>・老人クラブ連合会補助金に関すること</li> <li>・東部知多温水プール利用助成事業に関すること・食生活改善推進事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
老人クラブ参加者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4,750	4,750	4,750	4,750	4,750	4,750
	実績値	3,954	3,718				
単位	人						
地域サロン登録数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	60	63	65	68
	実績値	61	56				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			14,167千円	17,609千円	
人件費	a 事業費合計		14,167千円	17,609千円	42,258千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			1,643千円	1,643千円	1,643千円
③ コスト(①-②)			12,524千円	15,966千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			182円	232円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>老人クラブ参加者数は年々減少している。一方、市内では各地区でサロンなど様々な高齢者の集いの場が増加しており、活動の場は老人クラブに限定されず多様に広がっていると言える。</p> <p>また、老人憩いの家地域活用事業において、認可地縁団体の登録支援を実施し、令和3年度末までにほぼ登録が完了した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度中に市内の老人憩いの家は、すべて廃止又は地域へ譲渡する。今後、県、都市計画課と協議し、市街化調整区域内の憩いの家の対応を協議し、進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	老人クラブ組織の現状と今後の在り方について検討する。活発に活動している地区の取り組みを参考に、クラブの活性化を図る。 老人クラブ以外にも、サロンや運動教室など身近な場所で参加できる取組を今後も広げ、孤立を防ぎ日々の楽しみや生きがいにつなげる。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	老人福祉センター運営事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができている		
②大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
③中施策	高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する		
④中施策事業の対象	60歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	趣味や健康づくりで集まる場所を知っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味講座</li> <li>・趣味教室</li> <li>・老人クラブサークル</li> <li>・趣味サークル等</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
老人福祉センター 利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	41,000	41,500	42,000	42,000	42,000	42,000
	実績値	15,768	30,000				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		11,213千円	10,650千円		
人 件 費	a 事業費合計	11,213千円	10,650千円	10,932千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		11,213千円	10,650千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		163円	155円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価：B 令和3年度はコロナウイルス感染症対策に努めつつ、令和2年度に実施した開館制限は特に行わなかったため令和2年度と比較して利用者は増加したが、感染症蔓延防止に係る外出自粛が影響し、目標値には達していない。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設の劣化が進んでおり、防火シャッター、照明器具の改修等を公共施設管理課と協議し、改善を目指す。 また、指定管理者について、サウンディング調査を実施しながら福祉体育館と共同で業者選定することについて検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	老人福祉センターの事務室が、センター出入り口からかなり奥にあるため、案内看板を設置しているものの、その位置が来場者には分かりにくいいため、位置の変更を検討する。 サウンディング調査の結果を踏まえ、より効果的な仕様を検討し、公募を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 13日

中施策事業名	高齢者在宅サービス事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	高齢者及びその家族		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	サービスの利用で家族の負担が減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・外出支援事業 ・理髪サービス事業 ・寝具クリーニング事業 ・寝たきり老人介護手当 ・緊急電話設置		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
外出支援の利用数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4,300	4,350	4,350	4,350	4,350	4,350
	実績値	3,713	3,441				
単位	回						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			4,605千円	3,894千円	
人件費	a 事業費合計		4,605千円	3,894千円	5,649千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			4,605千円	3,894千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			67円	57円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>外出支援事業、理髪サービス及び寝具クリーニング事業等を継続実施している。コロナウイルス感染症の影響等により外出支援事業等は減少しているが、理髪サービス、寝具クリーニング等は増加しており、引き続き高齢者の要望に沿うものと思われる。</p> <p>【令和3年度利用件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援事業：3,441件、理髪サービス事業：36件、寝具クリーニング事業：名、寝たきり老人介護手当：17名、緊急電話設置※：212世帯</li> </ul> <p>※緊急電話設置は設置世帯数</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>ケアマネージャーや民生委員へ高齢者福祉ガイドブックを配布するなど支援関係者への周知を再度実施し、必要な人に事業の情報が届くよう働きかける。</p> <p>また、外出支援事業者は令和3年度は34事業者あり、介護タクシーや福祉タクシー等濃厚な支援が可能な事業者が多数あるため、周知することにより利用者の更なる増加が見込まれる。また公共交通（名鉄、ひまわりバス、チョイソコ）の方向性を踏まえ、必要な人に必要な外出支援が行き渡るような外出支援の方策を検討する。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>事業の周知をより充実させ、サービス利用を適切に使用するようにする。また、引き続き公共交通（名鉄、ひまわりバス、チョイソコ）の方向性を踏まえ、必要な人に必要な外出支援が行き渡るような外出支援の方策を検討する。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 19日

中施策事業名	生活支援体制整備事業	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	身近な地域で助け合える環境をつくる		
④中施策事業の対象	65歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	高齢期の生活に必要なサービスを知っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーターに関すること</li> <li>住民主体の生活支援体制に関すること</li> <li>高齢者外出支援事業に関すること</li> <li>在宅福祉推進活動委託に関すること</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
生活支援訪問サービス実利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	60	65	70	360	360	360
	実績値	76	71				
単位	人						
ちやっと実利用者	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	70	80	90	150	200	220
	実績値	251	270				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		12,076千円	15,020千円		
人件費	a 事業費合計	12,076千円	15,020千円	15,997千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		9,750千円	12,127千円	12,915千円	
③ コスト(①-②)		2,326千円	2,893千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		34円	42円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>おたがいさまセンターの事業は4年目となり、サポーター登録数も増加し続け令和3年度は73名増の366名となった。ゴミ出しや草刈り等介護保険サービスで対応できない多様な困りごとに対応ができています。</p> <p>令和3年度から第8期介護保険事業計画に基づき、「就労支援コーディネイター」として会計年度任用職員を1名配置したため、事業費コストが増加している。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	おたがいさまセンター「ちゃっと」事務室が共生交流プラザ「カラット」内に移転した。市民への周知を図ると共に、多世代が多目的に利用する複合施設の利点を生かし、より広い世代に支え手に回ってもらえるよう、施設利用者におたがいさま講座受講をPRするなどの取組を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	高齢者・障がい者・子どもなど、様々な市民が「ふつうに暮らせる」ための重層的支援体制整備を実施する中で、「生活支援コーディネイター」の役割と位置づけをどう考え、事業を展開するかを検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 5月 20日

中施策事業名	シルバー人材センター関係事務	部課名	健康福祉部・長寿課
		作成者	伊神 竜一
①めざすまちの姿	33 高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている		
②大施策	高齢者、障がい者の活躍の機会や場を増やし、収入と生きがいを得ることができる環境をつくる		
③中施策	高齢者、障がい者の活躍の機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	60歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	仕事をし、生き生きした高齢者が増えている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	シルバー人材センターに関すること 老人クラブ連合会補助金に関すること		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
受注件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2,400	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450
	実績値	1,813	1,706				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			26,708千円	26,708千円	
人件費	a 事業費合計		26,708千円	26,708千円	26,709千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			26,708千円	26,708千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			388円	388円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価：B</p> <p>シルバー人材センターの受注件数（令和2年度1,813件→令和3年度1,706件）は減少傾向（令和2年4月371人→令和4年3月：336人）にある。会員登録数（令和2年4月令和4年3月：336人）も同じく減少傾向であり、その点が受注件数減の主要因と想定される。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	受注件数の減少要因が、会員数の減少に伴うもの以外にあるのかどうかを含め、受注件数の維持増加に向け、要因分析を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	上記の分析を踏まえ、受注件数の維持・増加に向け対応策を検討・実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等